トイレ内ボウル付収納　取扱説明書

HE002

●本説明書は取付後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

安全上の注意（必ずお守りください）

・設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
・施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告　この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	⚠ 注意　この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

・お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠ この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。	❗ この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 取付けに関する警告

・設置場所の水平、取り付け壁面の垂直、隅部の直角度などが出ているかを確認してください。
・壁仕上げ前にタッピンネジ固定用の左右縦桟を、あらかじめ設けておいてください。
※強度のない壁・補強のない壁には取付けないでください。
※軽鉄への取付けは強度が不足する恐れがあります。必ず木材ネタにて補強してください。
・取付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。固定が不完全な場合、製品のガタツキ/壁との隙間/落下等の原因となります。
・電気配線工事は､関連する法令に従って、必ず「有資格者」が行ってください。火災や感電の原因となります。
・電源は交流100Vを使用してください。過電流による火災の原因となります。
・電源コードを傷つけないでください。漏電及び火災の原因となります。特に壁固定の際は気をつけてください。

⚠ 取付けに関する注意

・ガラスに無理な力や強い衝撃を与えないで下さい。
・ALC材・軽鉄・コンクリートブロックなどの中空部には取付けできません。
・屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損や落下等の原因となります。
・電源コードを傷つけないでください。漏電及び火災の原因となります。特に壁固定の際は気をつけてください。
・工事確認後必ず動作確認をしてください。製品のがたつき落下等の原因となります。

⚠ ご使用に関する警告

・本製品の棚の耐荷重は19.6N(2kgf)です。それ以上の荷重を加えますと破損してケガをするおそれがあります。
・用途以外のご使用はしないでください。破損してケガをするおそれがあります。

⚠ ご使用に関する注意

･汚れがついた場合は､中性洗剤を5～10%程度に希釈して使用し､ていねいに拭き取って下さい。
･シンナー･ベンジン･塩酸･強アルカリ性薬品等は使用しないでください｡変色･変形などの原因となります。
･極度に湿度の高い所で使用しますと製品の劣化を早めることがありますので､定期的な換気を心がけてください。

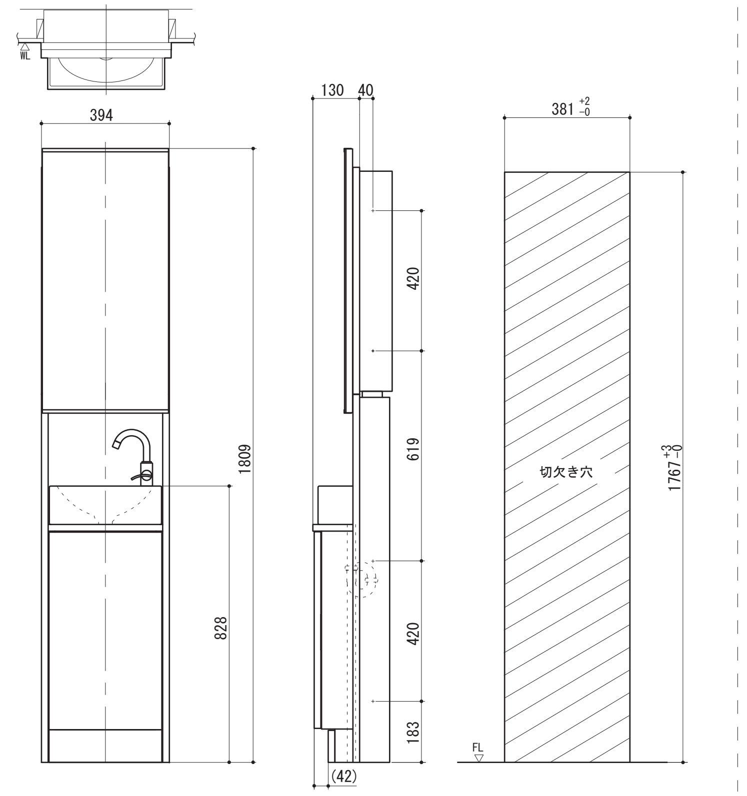
⚠ 施工前の注意

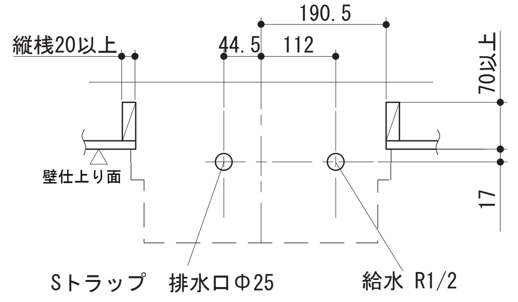
･輸送中の破損がないことを確かめてください。
･手洗器を取付ける前に必ず配管内のゴミ砂等を完全に洗い流して下さい。
･商品の表面には直接工具を置いたり掛けたりしないでください。

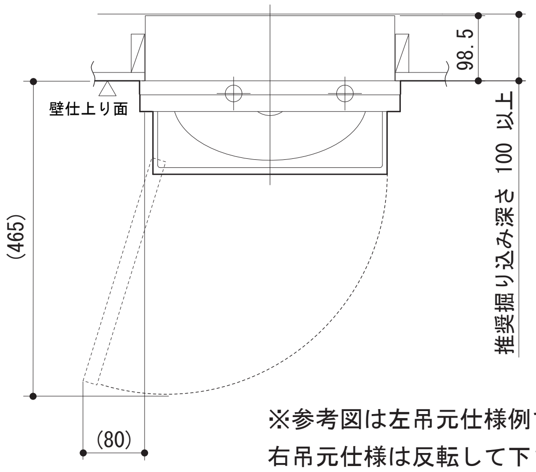
⚠ 施工後の注意

･漏水検査を必ず行ってください。
･使用時水が飛散しない程度に止水栓で流量を調節してください。

製品寸法





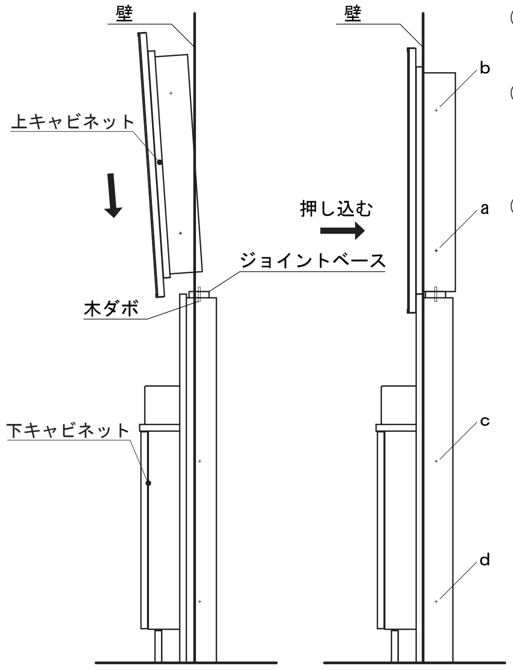


※参考図は左吊元仕様例です。
右吊元仕様は反転して下さい。

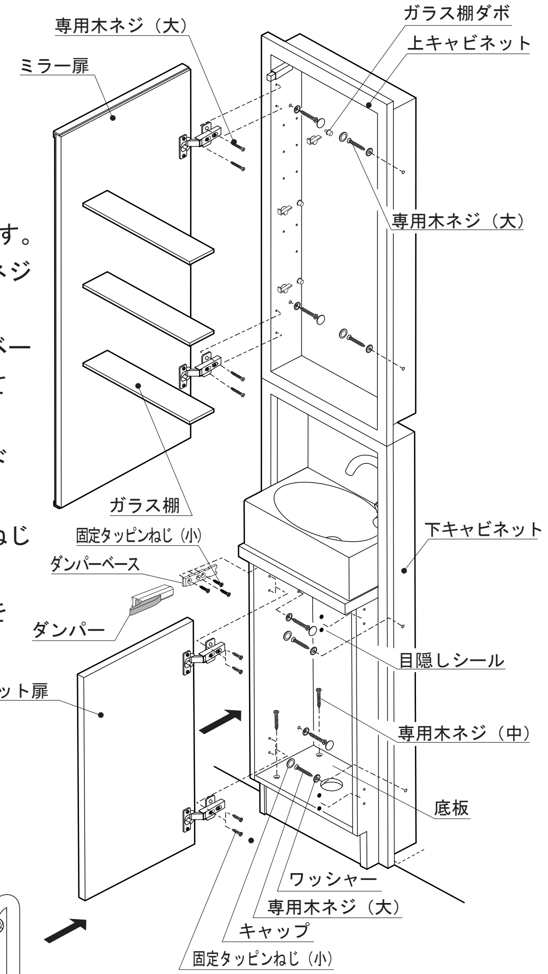
取付手順

①下キャビネットを切欠き穴に入れます。完全に入れる前に、扉吊元を決め、その後ジョイントベースと木ダボを使い、
上下キャビネットを合わせて取付けます。
上下キャビネットを完全に壁面に押し込み、付属のワッシャーと専用木ネジ（大）を 使い、a，b，c，d の順で縦桟に
固定し、キャップをします。
※ネジ止めする以前に上キャビネットが倒れないように気をつけてください。

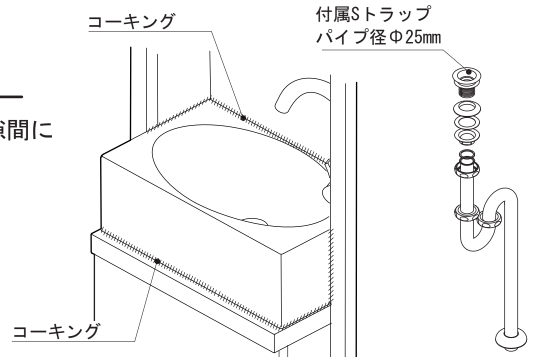
②上キャビネット用ミラー扉を専用木ネジ（大）にて取付けます。
⚠ご注意：ミラー扉取付けは、必ず壁面にキャビネットを設置した後に行ってください。



③ガラス棚ダボを取付け、ガラス棚を設置して下さい。
④水栓を固定し、付属Sトラップを取付けます。（Sトラップ取付けと同時に底板を専用木ネジ（中）にて取付けます。）
⑥下キャビネットの扉吊元を決めダンパーベースを下穴に合せてタッピンねじ（小）にて固定してください。
取付けたダンパーベースに前からスライドさせる様にしてダンパーを取付けます。
次に、キャビネット扉を下穴にタッピンねじ（小）にて固定して下さい。
使用しない反対側の下穴に目隠しシールを付属の接着剤併用にて貼って下さい。



⑦手洗いボウルと下キャビネットの側面の隙間にコーキングをして仕上て下さい。
※1度コーキングした後に、日を置いて再度
最終仕上げとしてコーキングをすると
美しく仕上がります。



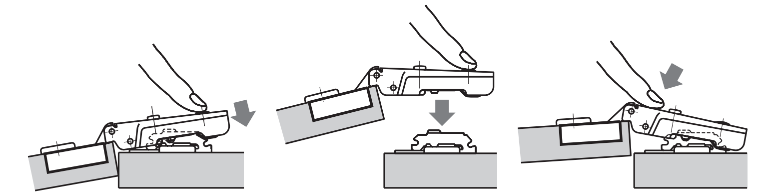
※参考図は左吊元仕様例です。
右吊元仕様は反転して下さい。

⚠ 電動工具をご使用の場合は、最後まで締めこまず、仕上げはドライバーにて手締めしてください。

扉（丁番）の取付・取外し方法

取付方法

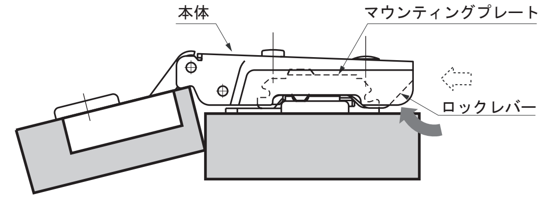
本体をマウンティングプレートにかぶせるようにして、カチッと音がするまで押し込んで下さい。（下記のどのやり方でもはまる様になっております）



※ 本体がマウンティングプレートに確実に装着されているか確認して下さい。

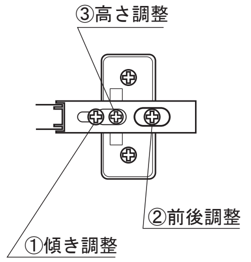
取外し方法

ロックレバーを矢印方向へ押し上げてマウンティングプレートから外して下さい。



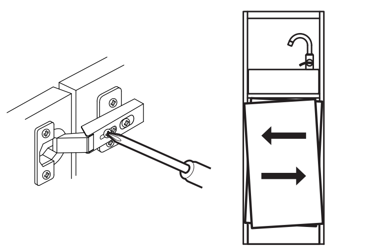
扉（丁番）の調整方法

丁番の調整機構



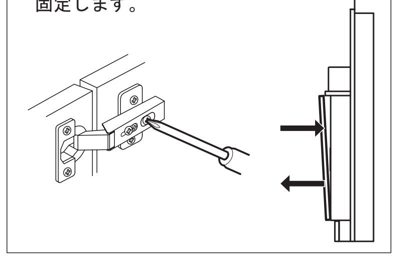
1. 扉の左右傾きを調整する場合

①の調整ネジを緩めると、丁番の取付け側と反対方向に動き、締めると丁番側に移動します。



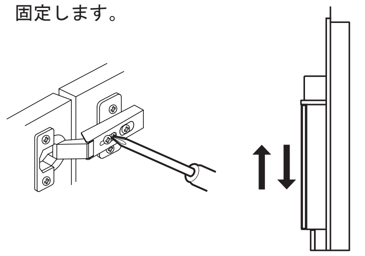
2. 扉の前後傾きを調整する場合

②の調整ネジを緩めると、丁番が前後に動きやすくなります。
丁番の前後位置を調整後、ネジを締込み固定します。



3. 扉の上下高さを調整する場合

③の調整ネジを緩めると、丁番が上下に動きやすくなります。
丁番の上下位置を調整後、ネジを締込み固定します。



トイレ内ボウル付収納　取扱説明書

HE002/HE002B

●本説明書は取付後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

安全上の注意（必ずお守りください）

・ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があり、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
・表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意　この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

・お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

❗ この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 取付けに関する警告

❗

・水道工事などは貴都市の条例に基づいておこなってください。
条例に基ずいておこなわないと、水漏れの原因になります。
・設置場所の水平、取付壁面の垂直、隅部の直角などが出ているかを確認してください。
据え付けを誤ると、使用中に取り付けネジがゆるみ、落下してケガをする恐れがあります。
・工事完了後は、ガタツキなど、ゆるみがないことを必ず確認してください。
ボウルの取り付けに異常があると、使用中にケガをする恐れがあります。
・給水・給湯管　排水管は確実にシールをおこない、施工してください。
水漏れ、不快なにおいやカビの発生原因になることがあります。
・施工前・施工後に製品に破損がないことを確認してください。
破損部でケガをする恐れがあります。

使用条件

最低必要水圧	最高水圧
0.05MPa	0.75MPa

・給水圧が0.3MPaから、0.75MPaまでは、止水栓で流量調節してください。
・給水圧が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。

施工前の注意

・輸送中の破損がないことを確かめてください。
・手洗器を取付ける前に必ず配管内のゴミ砂等を完全に洗い流してください。
・商品の表面には直接工具を置いたり掛けたりしないでください。

施工後の確認

・漏水検査を必ず行ってください。
・使用時水が飛散しない程度に止水栓で流量を調節してください。

取扱方法とお手入れ方法

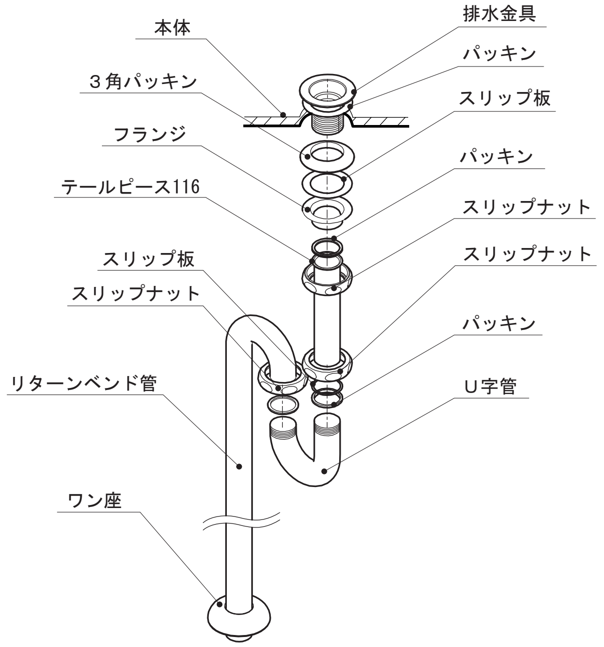
・極度に湿度の高い所で使用しますと製品の劣化を早めることがありますので定期的な換気を心がけてください。
・陶器に衝撃を与えないでください。陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因となります。

・金属部のお手入れ方法
①汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。それでも落ちない場合水ぶきしてください。
※クレンザー、塩素系洗剤、酸性洗剤、シンナーやベンジンなどを使用しないでください。
・陶器のお手入れ方法
①通常は空拭きで十分です。汚れがひどい場合は、中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
みがき粉、タワシなどの使用はやめてください。

配管の接続

①排水金具にパッキンをツバの下までさし込み
ネジの部分だけにシール剤を塗布してください。
このシール剤がないとナットを強く締め付けてもネジを伝って漏水しますのでご注意ください。
②洗面器に排水金具をさし込み、三角パッキン類をネジ部にはめ込んだあと、フランジで締め付けます。
（３角パッキンの弾性が失われない程度に締め付けてください。）
③フランジを締めこんでください。
④本体取付け後、U字管を接続してください。

Sトラップ
HF-K



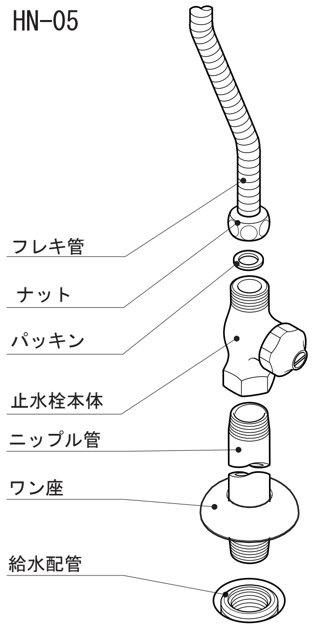
配管の接続　※別途お買求め下さい。

①給水配管にニップル管、止水栓本体を取付けてください。
※ネジ部にシールテープ等のシール剤を巻きつけてしっかりネジ込んで固定してください。
②ナットをフレキ管に通した状態でフレキ管を水栓給水部に取付けてください。

③フレキ管を程良い角度に曲げ、止水栓本体とフレキ管の間にパッキンを挟み込みながらナットを締めこんでください。

※長さ調整時、フレキ管のツバの部分は絶対に切らないでください。長さ調整はツバの無い方を切ってください。

HN-05



製造販売元
カワジュン株式会社
KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

取　扱　施　工　店　印